

6. 保健科学教育部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 …………… 15)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 …………… 15)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 2泊3日で大学院生と指導教員が英語で研究発表と討論を行う Tokushima Bioscience Retreat を毎年開催し、平成 28 年度からは蔵本地区の医療系教育部だけでなく常三島地区の先端技術科学教育部からも大学院生、留学生、教員が参加して、全学的取組に発展させ、参加者アンケートで高い評価を得た。保健科学教育部では 53 名の学生・教員が参加するとともに、平成 27 年度に世話人を担当することでこの取組の発展に貢献している。
- 蔵本地区 5 教育部において国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム「モンゴルと ASEAN 諸国における国際高度医療人育成プログラム」において、他の医療系教育部とも連携して英語による共通科目を開設するとともに、専門科目での授業や研究指導を行っている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。